



開物成務

平成 30 年 6 月 15 日 (金) 発行

校長 津田 将美

昨年度の 6 年生の卒業アルバムを読んでいるときに、あることに気づきました。

小学校の一番の思い出として、委員会活動を挙げる児童の割合が多いのです。普通は、修学旅行、林間学校、運動会、連合体育大会、音楽会など、大きな行事を挙げる場合が多いのですが、委員会活動が取り上げられることが多かったことで、新鮮な気持ちになったことを覚えています。その中のひとつを紹介します。

「…5 年生で初めての委員会で楽しみより不安の方が多くて最初の 2, 3 力月は仕事に積極的になれませんでした。でも、5 年生の夏の運動会で大きく変わりました。練習の時にマイク無しでセリフを言ったり、全校練習の時に全校の前で感想を言ったりしました。そこから集会の司会、代表委員会の司会など大事な仕事を積極的に取り組んでいけるようになりました。…この年は委員会で大役や中心になる事が多くてそれがおもしろくて、『6 年生でもやりたい』と思えるようになりました。

…6 年生は主に司会というより新しく入った 5, 6 年生のフォローをする方が多くなりました。…サポートも大役もこなせるようになったので、5 年生の時にやっていた良かったと思いました。

6 年生になり、学校のエンジンになる事の大変さを知ることができました。この経験は将来必ず役に立つと思うから、企画委員になれて良かったです。」(抜粋)

「学校のエンジンになる」と題されたこの文からは、不安を抱えながらも経験を重ね、その中でやりがいや自他を大切に作る心、成長する喜びなどを感じていったことが生き生きと伝わってきます。その中で自分の感じたことを人に伝えたい、みんなでよい学校(社会)を創っていききたい、という思いを大きくしていったことがわかります。その思いが良い行動や前向きさにつながり、自分自身の将来を切り拓いていきます。このような態度、生き方は「生き生き活動するすてきさん」として、下学年の児童の見本やあこがれとなり、開成小学校のよき伝統として引き継がれています。

今年度も、5 月 29 日に「委員会紹介」の集会が行われました。それぞれの委員会の取り組みや願いを全校に伝える大事な集会です。5, 6 年生の代表は、舞台の上で堂々と自分たちの委員会を紹介していました。

集会での紹介だけでなく、日々の活動や行事での活躍を見て、下学年の児童も「自分が 5 年生になったらこの委員会に入りたい！」という思いを描きます。そして、その思いがまた、よき伝統として開成小学校を動かす大きな力となっていくのです。

今年の 5, 6 年生の委員会活動での活躍を期待しています。



委員会発表を真剣に聞く下学年児童

コミュニティスクールの取り組み

学校運営協議会

6月1日（金）

開成町立幼稚園・小中学校は、園や学校と地域が力を合わせてよりよい園・学校を創っていくための仕組みである「学校運営協議会」が設置されているコミュニティスクールです。

6月1日に行われた開成小学校第1回学校運営協議会において、開成小学校のグランドデザイン（PTA 総会資料に記載されたもの）を提示し、意見交換をしました。今年度のグランドデザインは、昨年度からの協議を通して「開成小の歴史を生かす」体験的学習や「子どもが問いかける質の高い授業」といった新しい項目が追記され、より地域に根差した、分かりやすいものになっています。

今年度は、このグランドデザインの中の「生き生き活動する子」の育成において、「委員会活動」に関するご意見をいただきました。

表で紹介させていただいていますように、委員会活動や異学年集団活動は、子どもたちの自己肯定感を高め、自治的能力をつけたり、社会的資質を高めたりするために、とても大切な取り組みです。

運営協議会委員の皆様からは、「とても大切な活動であるが、家庭や地域にはどのようなものがあるのかわかりづらいので、是非学校だより等で発信してほしい。」というご要望もいただきました。確かに5、6年生になるとご家庭でもお子さんが何委員会に入っているかはわかって、委員会活動の全体像は見えていないのが現状のようです。そこで、今回はこの紙面で開成小学校の委員会活動について紹介させていただいて、地域や家庭の皆様にも開成小学校の児童の自治的活動について知っていただこうと思います。

委員会活動の目標

- ・児童が自分たちの学校生活をより楽しく豊かなものにするために、自発的に学校生活に関する諸問題を話し合い、それをもとに活動する。
- ・学校のために活動することを通して、児童が学校の一員としての自覚を持ち、自発的・社会的態度を身につけるとともに、個性の伸長を図る。

それぞれの委員会の活動内容

○企画委員会

委員会活動全体を取りまとめ、大きな集会や行事の企画や運営を行う。

○園芸・飼育委員会

校地内の栽培活動や飼育活動（金魚・メダカ等）を行い、「いのちの大切さ」を伝える。

○音楽委員会

音楽的行事（しいのみコンサート等）や音楽活動の中心となって活動し、音楽を全校に広める。

○掲示委員会

掲示物を管理・運営し、様々な情報発信や校内の環境整備に努める。

○体育委員会

体育的行事（運動会、長縄集会等）や様々な集会を通して、全校児童に運動に親しんでもらう。

○図書委員会

図書の貸し出しや管理、全校に読書に親しんでもらうための活動（読書週間・集会等）を行う。

○放送委員会

昼の放送等を通して、情報を正しく伝えと共に放送番組を工夫して、全校に楽しんでもらう。

○保健委員会

全校の衛生環境の整備や集会等（すこやか会議など）を通して、健康の大切さを全校に伝える。

○美化委員会

校内の環境美化に努めると共にアルミ缶、エコキヤップ回収など、環境保全の取り組みを行う。

委員会活動は、開成小学校の中のいわばコミュニティ（共同体）です。それぞれが関わり合い、協力し合ってよりよい学校を創っていきます。

体験的な学びから

4年生遠足 横浜方面

6月12日（火）

良い天気のもと 83 名全員で、はまぎんこども宇宙科学館と神奈川県警本部に行ってきました。

開成町と違った横浜の街並みに歓声を上げながら、科学館に到着しました。子どもたちは目を輝かせながら・いろいろなアトラクションを体験し、科学の不思議やおもしろさにふれることができました。

午後は、いよいよ県警本部です。ピリッとした雰囲気の中、子どもたちもいい緊張感を持ちながら署員の方の説明を聞いていたようです。神奈川県防犯体制や交通安全の取り組みについて、真剣に学ぶことができました。机上では得ることができない本物から学ぶことができた体験的学習は、きっとこれからの学校での学習に結びつき、「考えを磨き合うすてきさん」がたくさん育っていくことでしょう。



科学の目を育てる



白バイに乗って